



つじ 隆一 市議員 議会活動報告

社民フォーラム市議団

(TEL 214-8717)
(FAX 711-3453)

宮城野区版

NO. 116

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2023. 1. 1 発行

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@lilac.plala.or.jp

軍拡よりも 物価高・コロナ対策強化で 暮らし優先の政治を！

明けましておめでとうござい
ます。

ております。

常日頃からのご支援に心よ
り感謝申し上げます。

新型コロナ感染症の拡大に
対して、市議団として、10月

今日の私たちを取り巻く生
活環境は、第8波と言われる

13日に23年度の市政運営と予
算要望提出に併せて5度目と

新型コロナの感染拡大と、急
激な円安やロシアによるウク

なる対策への要望書を提出す
るなどしてきました。とりわ

ライナ侵攻に端を発した物価
高騰による厳しさが増してき

け市民生活への支援策の拡充
はもとより、医療提供体制・

保健所機能の拡充、経済対策
などに取組んでい

く必要があります。

また、物価高騰対
策として福祉・医療

機関等及び公共交通
通・運送事業者、農

畜産業者への支援を
求め、その結果12月

の第4回定例会の一
般会計補正予算で支

援策が打ち出されま
した。引き続き市政

を支え、市民生活向
上に向けて全力を投

球してまいります。

国政においては閣僚の相次
ぐ辞任や岸田政権の無策ぶり
が目立っています。分配より
成長を優先させ、格差を一層
拡大していくことに警戒しな
くしてはなりません。高まる台
湾情勢を含め防衛費の倍増が
目論まれています。憲法改
悪と「戦争のできる国づくり」
を止めさせ、将来不安の拡大
を許さず、暮らしを優先させ
る政治へ流れを変えていくた
めに引き続き奮闘してまいり



市議会本会議（コロナ対策で2/3の出席調整で開催）

令和4年第4回定例市議会終わる

計22議案を審査

令和4年第4回定例市議会
は、12月7日開会、22日閉会

の日程で開かれ、物価高騰対
策などを盛り込んだ計約95億

円余の一般会計補正予算をは
じめ計22件の議案審査が行わ

れました。

補正予算は、源泉所得税の
納付遅延にかかる延滞税、不

納付加算税の他、静岡県で起
きた幼児の通園バス置き去り

事故を踏まえた保育施設等送
迎バス安全装置導入のための

補助金が支給されることにな
りました。

物価高騰対策として、市立
病院や福祉施設等に対する光

熱費等助成、廃棄物収集運搬・
貨物自動車運送・観光バス事

業者への燃料価格高騰対策支
援、バス・タクシー等公共交

通運行継続奨励金、肥料・飼
料高騰対策として農業経営緊

急支援金などが盛り込まれま
した。これらについては10月

ます。

つじ議員の所属等

- ◇健康福祉委員会委員
- ◇歴史まちづくり調査特別委員会委員

令和5年第1回定例議会
2/10~3/14
※傍聴をお願いします。

本年が希望に満ちた一年と
なりますよう心よりご祈念申
上げます。

市議団の要望が実現

物価高騰対策として、市立
病院や福祉施設等に対する光
熱費等助成、廃棄物収集運搬・
貨物自動車運送・観光バス事
業者への燃料価格高騰対策支
援、バス・タクシー等公共交
通運行継続奨励金、肥料・飼
料高騰対策として農業経営緊
急支援金などが盛り込まれま
した。これらについては10月
に社民フォーラム市議団が市

《第4回定例市議会可決の補正予算》

(単位は千円)

一般会計補正予算(第8・9号)	9,590,873
○延滞金・不納付加税支払い経費(夏期手当等に係る源泉所得税納付遅延による)	49,485
○障害児通所支援事業所・保育施設等送迎バス安全装置導入補助金	138,200
○生活保護業務システム運用経費の追加	16,610
○福祉施設等に対する光熱費等助成	943,642
○今泉工場運営経の追加費(ごみ焼却処理薬品・焼却灰運搬費増加対策)	10,886
○埋立処分場排水処理薬品の増加対策経費	22,283
○廃棄物収集運搬事業者・貨物自動車運送事業者・観光バス事業者燃料価格高騰対策支援金	609,160
〈追加補正予算9号〉	302,520
○農業経営緊急支援事業費(肥料・飼料高騰)	75,989
○農業用施設整備費の追加(ため池転落防止)	35,000
○開発・宅地造成指導に要する経費	225,078
○公共交通運行継続奨励金の追加	420,690
○国の補助事業認証決定見込みによる経費の追加	
・道路維持・新設改良費	2,480,163
・橋りょう費	991,200
・都市計画街路事業費	1,200,000
・公園整備費	293,450
○特別支援学校スクール安全装置支援事業費	22,000
○災害廃棄物処理費の追加(3.16福島県沖地震による崩壊家屋の解体・撤去費増加対応)	15,938
○光熱費高騰対策補助金(市立病院)	13,125
○市有施設運営管理費の追加	1,680,454
《新型コロナ対策予算》	
・ケア付き宿泊療養施設運営経費	64,800
中央卸売市場事業特別会計補正予算(光熱費)	195,000

職員の見込みによる経費の追加

22年6月に市職員に支給された期末手当等に係る源泉所得税の納付が担当職員の事務ミスで遅れ、延滞税145万円余、不納付加算税4800円余、

万円の計4948万円余を事務署に納付せざるを得なくなり、その額については、一般会計補正予算で計上することとなり、市議会では

議員協議会が開催されるなど、市政運営上大きな課題として取り上げられました。

長苑に物価高騰対策に関する要望書を提出したことが反映された形となりました。
また、道路・橋りょう・都市計画街路事業・公園整備等に関する国の補助事業認証決定見込みによる経費の追加(補正予算の詳細は別途掲載)

3月の福島県沖地震に伴う崩壊家屋の解体・撤去費、災害廃棄物処理費の追加も計上されました。新型コロナ対策としてはケア付き宿泊療養施設運営経費が追加されました。



運送事業者への支援が実施

つじ隆一当面の主な行動予定

- 1. 4 仙台市新年祝賀会
- 1. 6 消防出初め式
- 1. 8 燕沢学区新年顔見せ会、鶴ヶ谷地区新春賀詞交換会
- 1. 11 みやぎ生協メンバーとの懇談会
- 1. 12 市職労旗開き
- 1. 16 仙台・福島・山形市広域観光連携推進協議会
- 1. 17 歴史まちづくり調査特別委員会他都市視察(～18)
- 1. 20 健康福祉委員会
- 1. 23 社民フォーラム市議団「市政運営・2023予算要望」回答
- 1. 25 歴史まちづくり調査特別委員会
- 2. 2 第1回定例議会議案説明
- 2. 5 社民フォーラム・平和労組政策交流会
- 2. 10 令和4年第1回定例市議会開会
- 2. 25 ソキウスさんだい理事会
- 3. 14 令和4年第1回定例市議会閉会

オンラインによる行政手続き等を条例化

条例関係では、情報通信機技術を利用して申請、処分通知、縦覧、作成、手続き等をオンラインで行うことができ、仙台市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例

も上程されました。

そのことに対して再発防止策を講じる旨全庁的に周知徹底するとともに、市長及び副市長の給料月額を50%、3ヶ月減額、総務局長・次長を減給10%、3ヶ月の処分とすることなどとなりました。市長・副市長の減額については、「市長等の給与に関する条例」の改正案が提案されました。

が提案されました。また、オンラインで特定非営利活動法人の設立の認証の申請を行える条例改正案、職員の給与を平均月額792円(0.24%)、一時金0.05月引き上げる条例改正案も提案されました。その他、東六番丁小学校及び児童館の改築(合築)、東長町小校舎の増築、東北本線余目跨線橋拡幅工事減額の工事請負契約の締結に関する件、市立高校・星陵中等教育学校の学習用コンピュータ取得に関する件、黒松・西多賀・西山児童館、若林体育館・図書館、海岸公園、泉岳自然ふれあい館などの指定管理に関する件

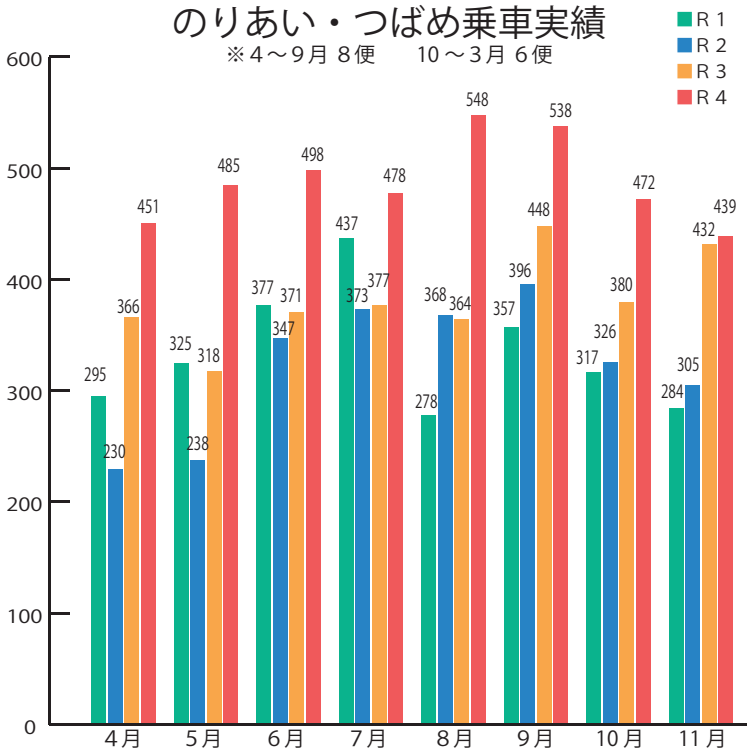
燕沢地区の地域交通

順調な運行の『のりあい・つばめ』

本格運行2年目の燕沢地区 地域交通の『のりあい・つばめ』は、コロナ禍にあつて利用拡大の活動が停滞している



令和4～11月の乗車実績		
1日当たりの乗車目標		
前期(4～9月)8便/日	32人	
後期(10～3月)6便/日	24人	
平均乗車人数		
	／日	／便
4月	37.5	4.7
5月	40.4	5.1
6月	38.2	4.8
7月	39.8	4.9
8月	42.2	5.3
9月	48.9	6.1
10月	39.3	6.5
11月	36.5	6.1



市議団で他都市視察を実施

文化芸術センター、オーガニック農業など

11月23日から25日の3日間、コロナ禍で3年ぶりの実施となりましたが、社民フォーラム市議団で行政視察を実施しました。

23日は、長野県上田市の交流文化芸術センター「サントミューゼ」を訪れました。仙台市が青葉山公園に整備を計画している音楽ホールの参考とするため、ホール建設の経緯、事業運営のコンセプト、そして特徴的な事業でもある、学校などを訪問して行う芸術家ふれあい事業などについて説明を受けました。また、併設する美術館も視察しました。24日は、神奈川県平塚市で、農薬や化学肥料に頼らないオーガニック農業を先駆的に実施している、「株式会社いかにす」

中であつて、順調な運行状況となつています。1日8便の前期(4～9月)は32人の乗車目標に対して41人でした。後期(1日6便)は寒い時期を考慮しても目標24人に対し

て38・2人と健闘しています。財政状況についても、2割の運賃等運営協議会負担(8割は市補助)も11月の段階で19%を超え、その点でも目標達成のめどがついてきています。



上田市サントミューゼ

さんを訪ねました。土壌分析、収量調査や栄養分析などを通して有機農業の普及・拡大を目指すに向けた取り組みや、食や種に関する勉強会や講習会などを通じて栽培技術・経営力向上に向けた取り組みなどを学びました。25日には、埼玉県庁を訪れ、県が取り組む太陽光パネル回収事業の施行結果や今後の課題



平塚市「いかにす」さんにて

題等について説明を受けました。これは現在本市議会で議員提案で「(仮称)仙台市太陽光発電事業の健全かつ適正な導入、運用等の促進に関する条例」の成立を目指していますが、太陽光パネルのリサイクルが課題の一つとして挙げられていることの参考に資することが目的でした。最後に、農林水産省において、「みどりの食糧システム戦略」「有機農業をめぐる事情及びオーガニックビレッジ事業」「米の消費拡大事業」などについて、担当部署より資料をいただきながら説明を受けました。



明石市の障がい者e-スポーツ協会にて

翌8日は明石市の一般社団法人障がい者e-スポーツ協会にて、障がい者向けe-スポーツ大会開催の背景や事業内

11月7日から9日まで、健康福祉委員会の他都市視察が行われました。7日は横浜市を訪れ、委員会の審査項目の一つでもある成年後見人制度の利用促進について説明を受けました。横浜市の中核機関としての「よこはま成年後見推進センター」や市民後見人の取り組みは大いに参考となりました。

成年後見制度・子育て事業など 健康福祉委員会で他都市視察を実施

容について伺いました。続いて、神戸市の宿泊型及びデイサービス型の産後ケア事業、産後うつ対策などに取り組む母子保健事業について説明を受け、意見交換も行いました。

9日は、愛知県庁を訪れ、県が取り組む「愛知県児童総合センター」(現・シブリアパーク内)を核に取組む児童館・放課後児童クラブ事業や児童厚生員・放課後児童支援員制度などについて学びました。

つじ隆一の活動日誌

- 10. 6 第3回定例市議会閉会
- 10. 7 地方自治研究全国集会(～8日 静岡市)
- 10. 9 小田原市駅東お城通開発事業視察、第五福龍丸展示館視察
- 10.13 市議団 市政及び令和5年度予算要望及び新型コロナ対策・物価高騰対策要望提出
- 10.14 自治労宮城県本部政治連盟会議
- 10.16 みやぎの・まつり、社会福祉法人「みんなの輪 わ・は・わ」設立20周年記念集会
- 10.17 第4回燕沢乗合タクシー運営協議会、市労連定期大会
- 10.18 市労連退職者会定期総会
- 10.19 東北大学名誉教授大内先生出版を祝う会
- 10.21 健康福祉委員会
- 10.23 燕沢学区自主防災訓練
- 10.25 区・地区社協、燕沢地域包括C合同打合せ
- 10.26 「議会活動報告 115号」発送
- 10.29 社民フォーラム宮城幹事会
- 10.31 歴史まちづくり調査特別委員会
- 11. 2 選択式夫婦別姓問題勉強会
- 11. 7 健康福祉委員会(～9日 横浜市、明石市、神戸市、愛知県)
- 11.10 宮城野シルバーフェスティバル
- 11.12 市議会議員と若者の交流会
- 11.15 燕沢地区社協理事会
- 11.17 「コロナ対策・自治体の課題」上昌広氏講演会(リモート参加)
- 11.18 市児童館労組定期大会
- 11.21 健康福祉委員会
- 11.22 市職労中央委員会
- 11.23 市議団他都市視察(～25日 上田市、平塚市、埼玉県、農林水産省)
- 11.26 ソキウスせんだい理事会
- 11.28 燕沢地区宮城野区地域懇談会
- 11.30 第4回定例会議案説明、宮城野区護憲平和センター市民自主大学
- 12. 1 各派代表者会議(代理出席)
- 12. 7 第4回定例市議会開会
- 12. 9 燕沢乗合タクシー運営協議会役員会
- 12.11 社民フォーラム全国交流会(リモート参加)
- 12.12 第5回燕沢乗合タクシー運営協議会
- 12.13 本会議(～19日)
- 12.16 宮城野区地区社協会長・福祉推進員連絡会
- 12.20 健康福祉委員会
- 12.22 第4回定例市議会閉会



◆「宮城野区地域懇談会」を開催◆

11月28日、燕沢学区「宮城野区地域懇談会」が開催され、町内会副会長・地区社協会長

として参加しました。コミセン多目的ホールの改善、各町内会が出していた道路・側溝、ごみ集積所の改善、公園管理、空き家対策など計20項目の要望事項について、区の担当者より回答・考え方が示され、意見交換が行われました。

◆3年ぶりの燕沢学区自主防災訓練を実施◆

10月23日、燕沢学区自主防災訓練が燕沢小体育館で避難所開設訓練を中心に実施されました。消防岩切出張所の若生所長の水害・土砂災害対策についての「防災講話」の後、



避難所開設の説明、段ボールによるパーティションや簡易ベッドの組み立て・設置訓練、AED(自動体外式除細動器)の実用訓練が行われました。